D/A2

803

賣品）

森作太郎著述

富國論

特47
858

富國論

森作太郎

日本と歐米諸强國との優劣は精神的進化の程度にはあらずして專ら物質的進化の程度に存するものと思はるゝ道德哲理文學政治等精神界に屬するものに至ては我れと彼れと互に長短ありて之れを要するに我れ固より彼れに優れりといふことを得されとも亦た甚たしき徑庭はなき樣である現に今般の支那戰役に於て平素文明國を自稱する國々の兵士が掠奪强姦等あらゆる乱暴狼藉を働らきたるに反して日本の兵士は軍紀嚴肅秋毫も犯す所なしといふ固より余は日本の側より出てたる報道を悉く信するものにあらす又歐羅巴人が支那人に對する感念は人種宗教進化の度等よりして之れを夷狄視することも[illegible]

れるか故に之れを以て彼等か道德上の眞價を測度せんとするものにはあらされども兎に角此一事に就て支那人に對し日本軍の道德は彼等の道德に優れことを證據立たるものといふも敢て過言にあらすと信するなり然るに物質的進化即ち富の程度に於ては如何乍殘念陸海軍備に屬するものと鐵道とを除くの外は殆んと比較にもならぬ程にて彼れの十分の一にも遠く及ふこと能はす僅に彼れの何十分の一に過ぎさるとは詢に心細き限りなり

現今の所謂文明進化とは重に物質上の進化を意味するものなり如何に精神的に於て進化したりとも物質的進化の程度に於て劣等なるときは其國は世界の位地に於て劣敗者たることを免るゝこと能はす世界の歷史は弱肉强食の悲劇を繰返へしつゝあり未來も亦此悲劇は殆

んと無疆に繰返へされんとす斯る世に國を成す所の國民か自强の道を力めすして徒らに仁と呼ひ義と叫ひ切齒し扼腕するも何の益かあらんや

自强の道を求めんとせは必らす富國の道を講すへきことは殆んと說明を要せさる道理なり今日の軍備は資金なけれは一も之を整備すること能はす又縱令ひ一たび之れを整備し得たりとも資金なけれは之れを維持すること能はす又縱令ひ辛ふして之れを維持し得たりとするも資金なけれは之れを實用に供すること能はす實用に供すること能はさる軍備は床の間の置物と一般殆んと無用の長物たるを免るゝこと能はさるなり故に自强の道を求めんとせは必らす先つ富國の道を講すへきことは殆んと說明を要せさる道理である

然らは富國の道如何せば可ならんとは必らす其次に生すへき問題にて富を致すの道は農業と工業とに在り之れを助くるに商業を以てすへし古今何れの國を問はす農業盛ならさる國は其國富みたることなし然れとも地力には限りあり或る程度迄進歩するときは最早人力を以て其上に之れを進歩せしむること能はさるものあるか故に近世に於て富國の實を擧けんとせは農業の外工業を盛にすることを必要とす殊に疆域狹小にして地力開發に餘裕を有せさる國に於ては工業に依るに非らされは殆んと富强を致すの道はなし工業も亦固より其國の事情に依て多少の制限を受くることありと雖も之れを農業に比すれは進路廣大にして殆んと疆りなし現に世界の諸國にして工業の盛なるものは其國富み工業の盛ならさるものは其國富まさることは論

より證據千九百年の巴里大博覽會に於て明かに證明せられたり苟も此大博覽會を觀覽して近世富國の道は專ら工業に在りとの感覺を起さゝりし者は殆んと無神經者なり

英國は夙に工業を以て其富宇内に冠絕したり佛蘭西は近來其工業甚た進歩せすと雖も早く既に英國に次き其工業に依て富盛を致せり獨逸は新進の國僅に三四十年にして英國に雁行せんとするに至りしは大に其工業を盛んにしたるか為めなり其他瑞西か壹萬五千方哩の面積と二百九十萬の人口とを以て諸强國の間に介在して能く其獨立を保つは其工業に依るなり露國の如きは其範圍甚た廣大にして開發すへき地力に富み今尚ほ農業を勉むるの時代に在りて未た工業國と稱すること能はすと雖も巴里大博覽會の出品に徵して之を觀察すれは

近來着々其工業の發達を計りつゝあることを察すへく未來の進歩或は恐るへきものあるも知るへからす北米合衆國に至ては近來工業の發達進歩を以て世界の貿易市場を壓倒せんとするの事實は衆人の知る所なり近世富國の道は工業に在ることを其證據歴々として斯の如きものあり此れにても尚ほ工業立國の論を否定するものあるか

飜て日本の工業を顧れは甚た憫れむへき狀況に在り巴里の大博覽會に出陳したる物品の内にて好評を博したるは僅に西陣織物陶器象牙彫刻物等所謂美術品と稱する翫弄品の外には生糸茶等の半製品天產物か少く人目を惹きたるのみ其他は僅に羽二重甲斐絹の類ありと雖も甚た微々たるものにして將來富國の源となるへしと思はるゝ工業品は殆んと稀れなり余は博覽會場内を幾度か徘徊して長大息を禁す

ること能はさりし工業に至ては日本は歐米何れの國よりも遙かに劣等なり否殆んと比較にはならさるなり露西亞の如きは日本人は甚た之れを輕蔑し居たるに今此博覽會に出陳したる物を觀るに至て壯大なる機關あり精巧なる機械あり工藝品あり余は一見呆然自失したり是に於て余は日本か三十有餘年の星霜を費やし隨分高價なる代價を拂ふて成就したる進歩は單に假裝の進歩なることを覺悟したり比較的高價なる代價を拂ふて彼等か拵へたる物を其儘借り來りて吾國の外面を装飾したるに止まることを覺悟したり鐵道に就て之れを例すれは單に歐米にて製造したる軌條を買ひ來りて之れを地上に敷設し又彼等か製造したる機關車及車室を購ひ來て之を其軌條の上に運轉するのみにて其軌條と機關車車室とを自ら製造することを爲さゝる

ものなれは此れ未開國民にても出來る事にして縱令ひ何千哩何萬哩の鐵道を敷設し得たりとも進歩でも何でもなき事理を覺悟したり今日の場合に於て吾國民の勉むへきは富國の道に在ることは恐らくは反對の論なかるへし反對の論なしと雖も國民之れを望むこと切實ならす之れを思ふこと周到ならさるか故に唯た此論に反對せさるのみにして熱心に之れを實行せんとするもの無く又其實行の方法に就て異論を免れさるなり故に今日の急務は先つ其國是を一定し日本の國是は富國に在りとし其富國の道は專ら工業を振興し隆昌にするに在りと確定し此國是此主義に依り上下協心專心勇進するに在りと思考す但し農業亦富國の基たるのみならす吾國の如き未た全く工業時代に推移せさる國に於ては尙更農業を怱かせにす可らさること勿論なりと雖も農業の重んすへきことは國民の多數既に其肝に銘し居るを以て今特に之を論するを要せす且國の工業を隆盛にするときは農業は之れに隨て自ら發達すへきものなり又工業を奬勵保護せんとせは或種の農業も亦自ら奬勵保護することを必要とする場合あり又商業は實際に於て工業を補助するものなり商業盛ならされは工業品を外國に賣捌くに不便なるは勿論にして工業は商業の爲めに助けられて發達することありと雖も若し工業もなく農業もなけれは商業は絕へて發達することなし商業は其國の農產物及工產物の產出高に比例して發達するものなり乃ち工業及農業は本にして商業は末なることと最も睹易き道理なり然るに日本にては商工業と稱して商業を本とし工業は反て商業　下に在るものと思惟するものゝ如し此れ何事

にても其本を究めずして其末に趨る吾國民の性情に出るものにして先づ此誤謬感念を打破するを必要とす由て今一問を設けて之れを説明せんに此頃の大阪毎日新聞に「ニウヨルク」特派員の通信として大平洋岸に於ける米國貿易の膨脹と題し千八百九十四年の輸出額は三千二百四十七萬千四百七十一弗なりしもの千九百年には凡そ七千萬弗に增加したりとあり又同新年に英人「ゼー、エム」氏稿として英米鐵鋼の競爭と題し米國の製鐵業は生產超過を來すほどに盛大となりしかば何れも非常の廉價を以て輸出を試み歐州市場の競爭甚た危險なるは勿論にして今や「クライド」鎔爐及附近の製造所は大なる困難に陷れり云々との記事あり此兩記事を湊合して之れを腦裏に刻し而して米國が斯の如く僅に數年の間に其貿易輸出額が倍以上に

增加したる原因は米國の工業及農業の發達に在るか又は米國商人の商業の仕方が數年前より巧者に爲りたるか故かと問はゞ何人と雖も米國の農業工業殊に工業が近來著るしく發達進歩したるが爲めなりと答ふ可し米國の商人が千八百九十四年より千九百年に至ては著るしく巧者になりたるが故に輸出が增加したりと答ふるものは無かるべし古昔伊太利の「ブエニス」「ゼノア」北獨逸の「ハンゼー、スタット」及和蘭の如き自國造出の貨物の外甲國造出の物品を以て乙地に運搬し所謂中間貿易に依て大に富を致したるものありと雖も今日の時勢に於て斯る事は殆んと行ふへき餘地を見す尙又一事實を以て之を證せん今政府か航業獎勵に費やす所年々凡そ八百萬圓程にて其内の大部分は日本郵船會社の受くる所なり然るに日本郵船會社の船

舶が日本を出帆する時には船足甚た輕く香港「シンガポール」等にて荷積を爲し倫敦に赴き夫れより白耳義の「アンヴエルス」に航して再び倫敦に立寄り日本に向て出帆するときには貨物滿載船足殆んと安全線に達する程にて日本に歸航するを常とす出て航業奬勵金の利益は其一部は同社株主の利益となり其一部は外國荷主の利益と爲りて國家は何の益する所もなきのみならず畢竟輸入奬勵と爲る有樣なり即ち國の工業を隆盛にし造出力を增大にせすして唯た徒らに商業の擴張を計らんとするも何等の効益なきことを知るべきなり

近來物價騰貴して輸入の額輸出に超過すること數年の久しきに涉り其結果正貨流出を致し兌換制度の基礎を危ふするものありとて大に憂慮する者あり此れ償金取入れの爲めに通貨の膨脹を致し戰勝の聲の爲めに國民一般の驕慢心を助長したる等其近因なるへしと雖も此れ等變態事情を外にし自然の理勢に於て斯の如き傾向を生するものあるへしと思考す凡そ後進の國民か先進國の事物に接して一たび其優勝利便なることを認めたるときは欲望遽かに增進して內地產業の發達之れに件隨すること能はさるを以て其欲望を充たすか爲めに大に外國品を需用すべきは自然の勢なり今吾國の經濟上の有樣は即ち此有樣に在るものにて其貿易は內地に產する生糸石炭銅茶等天產物又は半製品を以て彼等の鐵器砂糖金巾毛織物等の工藝品と交換するものなり而して此天產物及半製品の產出には限りありて遽かに其產出額を增大にすること能はす而して外國の製造品を需用するの欲望は限りなし此時に當りて如何に大聲疾呼して勤儉を唱道するとも何

の益も無かるへし蓋し欲望の增進は未開國民か開明に進む自然の趨勢にして又其動機たれはなり故に昨年下半期より輸入の超過甚た大ならさるは畢竟國民の資力欠乏したるか爲にして他日少く資力に餘裕を生するときは直ちに又外國品の需用を增して輸入の超過を來たし次て又資力欠乏の有樣に陷りて止む即ち頭首の上る期は無き譯なり、して見れは日本は終世貧乏で居ることを覺悟するか又は國の工業を發達せしめて自ら富むの工夫を爲すか二箇擇一の場合に在るものなり貧乏固より堪ゆへき所に非らさるのみならす貧乏の結果は必然亡滅なり即ち貧乏に安んずるは亡滅を甘んするものと謂はさるを得す故に是非共工業を盛にして富を致すことを計らさるを得す

或る論者は輸出入の不平均を憂ふに足らすとして曰く通貨か海外に出るも其割合に從ひ物品か這入て來る故に差引損得なく又通貨か欠乏したりとて國か貧しくなりしと認むへき理なし富は通貨のみにあらずして物品も亦富なりと此論或點に於ては眞理を含むことを認むると雖も今吾國の現狀に就て此論を唱ふるは大なる誤謬なり若し海外に出たる通貨の代りに這入て來た物か悉く皆同一經濟上の利益を生するものなりと假定すれば即ち例へは百萬圓の通貨を以て工業機械を購入し之れを以て物品を製造し相當の利益あるものと假定すれば詢に論者の言の如く損得なし然れとも其通貨の代りに這入て來たものか銃器なり軍艦なり建築材料なりとし又軌條なり機關車なり車室なりとし而して之れを以て鐵道を布設したるに其利益は甚た少なしと假定せば經濟の上に於ては結局損失を免れさるなり之れを要す

るに特別の事情あるものゝ外其國に於て造出する物、國民の生活に餘りありて之れを國外に輸出するものは即ち富國と爲り之れに反し其國の産物にて生活するに足らすして其不足を外國に仰くものは貧國となる可し如何なる理論も決して此原則を動かすこと能はさるなり輸出入の不平均が前述の工業機械等を購入したるか如く有利にして一時的のものなるか又は英佛の如く一方に輸出入の不平均かあるとも他の一方は海外に於ける債權の利息又は來遊の外客か投する財貨莫大なるか爲めに別に資金の流入することあるものは格別日本の如く國内に産する物にて國民の需用を充たすこと能はすして輸出入の不平均を來たし其不平均より生したる不足額は海外に借金して塡め合さねはならぬか如き場合に於て通貨の流出は憂ふるに足らす物品も亦富なりと安閑として居らるへきものなるか論者の迂實に笑ふへし

吾國既に貧國に安んすること能はすとせは則ち大に工業を發達せしめて國を富ますことを計らさるを得す而して之れを成就する亦容易の業にあらす又輕擧妄進急速の成功を期するときは反て失敗を招くの恐れあり唯前述の如く政府も國民も工業立國の主義を以て國是とし一意專心倦ます撓ます着々順序を逐て勇進するときは成功の域に達すへし而して工業といふ内にも亦順序あり余は今日の場合に於ては直に輸入を防遏する物を第一とし直接輸入を防遏する物に非らされとも輸出額を多くし計算上即ち「バランス」の上にて輸入額を少くするものを第二にす可しと思ふ但し此順序といふも判然と其順序

を立てゝ先つ輸入品と同一物品の製造を興こし悉く之れを成就して後輸出品の製造に取掛る可しとの論旨にはあらすして固より同時に両者の發達を計るに在れとも唯た政府及國民の心裏に此順序を銘刻して事に從はんことを冀望するのである何となれは日本の工業品を外國に輸出することは固より國民に於て極力計畫す可き事なりと雖も余の見を以てすれは如何に努力するも貸すに歳月を以てせされは大に發達することを期す可らす之れに反し輸入工業品は現に吾國民が國内に於て需用するものにて内地にて之れを製出することを得れは少くとも國民が需用する丈のものは直ちに消費せらるへく尚は其上に其餘裕を海外諸國に輸出して買捌くことを得へきものも多々あるへし早く輸入工業品を國内にて製造することを爲さすして唯た輸出のみに汲々とし困頓蹉跌歎息の聲のみを洩らすは策の得たるに非さるなり而して輸入品を内地にて製出し得へき工業は製鐵製鋼事業製糖事業細糸瓦斯糸の紡績事業織布事業製絨事業等其重なる物にして其他種々の工業品殆んと枚擧に遑あらさる程にして此等の物品は其原料こそ或部分は海外より取寄するの必要あれとも一も内地にて製造し得さるもののあるなし然るに之れを製出することを爲さすして海外より輸入を仰くは國民が奮發力の精神に乏しきより生するものにして國民の經濟に於て甚た取らさる所なり輸出の増加は甚た遲々として輸入増加の趨勢は甚た急激なり而して其輸入品の大部分は國民が日常の必需品なりとすれは其輸入に係る必需品を國内にて製造することを計らすして何に依て國の貧弱を免るゝことを得んや」

或は謂はん工業の發達を計る詢に善しと雖も製鐵製鋼事業を始め其他の工業政府に於て之を爲すも國民に於て之れを爲すも資本なければ其業を擴張すること能はす之れを如何せは可なるやと此れ尤もなる疑問なり今日に於ては資本既に欠乏に困しむ之れを救はんとする爲めに資本を要する事業を興さんとするは一見奇怪なるか如しと雖も斯の如きの外他に完全なる策なきを以て非常の奮發を以て之れを遂行せさるを得さるなり抑も窮乏とは物の不足を意味す資力の欠乏は資力の不足なれは其不足を補ふには新に其不足を補ふ丈の資力を造出するの外縱令ひ如何なる經濟家か現出したりとも致方なかる可し或は其不足の資力を他より借り來りて之れを補んとするものあら

然れとも他より借り來りたる資力は其實は依然として他人の資力なれは之れに對し報酬として利息を拂ひ且或時期に於て之れを所有者に返還せさるを得す故に他の資力を借り來るは通常之れに依て自巳の資力を造出し得へきことの確實なる塲合に於て其造出の手段として一時之れを借用するときに限れるものなり且又借金は他人の懐中を目的とするものにて果して其目的を達し借用することを得へきや否やも亦豫知すへからさる不定の事に屬するを以て先つ最初は飽まても自己の力に依て資力を造出するの覺悟を取らさるを得す然らは如何せは可なるやといふに官民共大に他の事業を縮小して專ら其資金を工業に集むるに在りとす就中官民共鐵道事業の如きは大に縮小の方針を執り政府の鐵道事業に於ては三港の海陸連絡鐵道及既に着手中に在る東海道複線位に止め其他は無期に之れを延期し其資金を

以て製鐵所の事業を擴張し其他工業を發達せしむるの資と爲さしむへし又民間の人士も濫りに利益少き鐵道を敷設するを止めて現時に於ても將來に於ても個人の爲めにも國家の爲めにも有利有望なる工業を振起することを勉むへし吾國と英國との資力を比較するに固より精密には解らされとも凡そ吾國の資力は英國の三十分の一より少しとは最も信すへき計算なり而して鐵道の哩數のみは之れを英國に比較するに凡そ十分の一强に當れり此れ既に鐵道のみは他の事物に比して著るしく不相當に發達したることを證すへきなり凡ろ或事物か他の事物に比して不相應に發達し其權衡を得さるは決して利益にあらさるなり余も亦未開國を開發するに最も先つ必要なるものは鐵道なることを知れり又現に日本をして今日まて進歩せしめたるには（進歩と謂ひ得るならは）鐵道か與りて大に力あることを知れり然れとも斯の如く遽かに發達して他の事物と權衡を得す反て他の事物の發達を妨くるに至ては一時之れを中止し他の事物の發達するを待て更に復た之れと倶に發達せしむるの必要なることを悟れり譬へは猶ほ食物のごとし食物は人體に必要なること論なしと雖も過度に之れを食すれは反て人體を害す吾國の現狀は鉄道の多くして利益の少なきに苦しみ社債に先株に狂奔して猶ほ且救ふこと能はさるもの多し是れ豈に鐵道食傷の徵症に非らすや宜しく絶食靜養して胃腸の平常に復するを待つへし若し此上にも鐵道を敷設せは金融益逼迫して工業は興らす國家益々貧弱となり終に鉄道倒れとなるへし鉄道は直接に物品を造出するものにもあらす又之れを外國に輸出して賣却し得

へば港灣のに比あらず國力不相當に鉄道を所有したりとも何の益なきのみならず濫りに山間僻陬に鉄道を敷設するときは質朴の農民をして急激に奢侈の風を學ふの便を得せしむるのみ故に余は切に望む官民共に國の工業大に振起するまて鉄道敷設事業を中止し以て其主力を工業に集めんことを但し未た鉄道を敷設せられさる土地の人々は起て其敷設を迫る可し政府に於ては既に豫定の法律あるに依りし其敷設を中止するは隨分困難なる事情あるへしと雖も一地方の利害は國家の利害に換へ難し詳かに其理由を説明し斷然として其決心を動かさず一地方の欲望の爲めに國家の事を誤ることなからんことを望む若し當路者は此決心なければ財政整理抔到底行ひ得可きことにあらず蓋し鉄道は船舶と同く人及び貨物を運搬するの機械にして一の營利的事業なれは政府か之れを所有するは變則にして成る可く人民に所有せしむるを可とす或は歐洲大陸の國有鉄道を以て之れを吾國に行ばんとするの論者ありと雖も此れ彼是の地勢及經濟事情等を異にせる所以を知らさるものにして同意す可らさるなり

右述ふる如く官民共に鉄道の如き不急の事業否不急にあらさるも延期することを得可き事業を中止して其資本を專ら工業に用ゆるときは必らすしも資本無きを憂へさるなり且工業は資本のみにして出來るものにあらす資本の外に職工の練熟を必要とするを以て多少の歳月を經過するにあらされは隆昌に赴かさるは當然の順序なり故に當初に於ては餘り莫大の資本を要せさる可し若し必要以外に資本があるときは經濟の訓練を欠ける吾國民は彼の戰後經營と呼號したる時

の如く或は無益の事業を起し或は起業の方法を誤り反て經濟を紊乱するに終る可し創始の時に於ては饒かならざるの資本を以てすることと反て起業者をして愼重の態度を執らしむるの本となる可し而して事業の基礎既に定り將來の見込充分確立したる上は大に外資を輸入して其擴張を圖る可し此場合に至れは外資は招かずして來る可し外資は利息附の負債なれは利益の確定したる事業の爲めに之れを借り入るゝは利益なる可しと雖も萬止むを得ざる事情あらずして唯一時の窮困を慰せんが爲め無理に外資を招致せんとするは其招致の困難なると共に益々窮困を増すの原とある可し余は目的なき外資輸入及鉄道國有抔云ふ無謀の論には斷然反對するものなり

熟ら經濟の歷史と世界經濟上の形勢とを察するに大に一國の工業を發達せしめんとせば決して自然の發達に放任す可らず國民に於て其發達に勉むると共に國家の權力を以て極力之れを奬勵し之れを保護することを必要とす米國の工業が今日の隆昌を致したるは保護政策の結果なり獨逸の工業が今日ある亦保護の結果なり佛蘭西の工業が兎に角今日までの進步を爲したるも保護の結果に外ならず英國の工業に至ても近來こそ著るしき保護政策を用ゐることを聞かずと雖も其今日の有樣に進步したるは曾て歷代の賢王賢相等が勉めて自國の工業を奬勵し保護したるに原因することは英國の經濟史を閱讀したる者の知る所である然るに世に一派の論者あり「アダム、スミス」の糟粕を甞むるものにて保護政策を非として經濟は之れを放任して自由に發達せしめざれば進步せざるものと爲す此派の學者は現今米國

及歐羅巴に於ては英國を除くの外最早毫も其勢力なしと雖も吾國に於ては尚ほ甚だ勢力を有するが如し此論者は只管机上の空論に馳せ歷史の事實と現世の有様とを度外に措くものにして達識なきものゝ之れを聞けば一聞至論なるが如しと雖も其實甚だ國家の進運を害する迂論なり此論曾て一たび米國を害し二たび獨逸を害し三たび日本を害し而して其本家本元たる英國に於てさへも近來漸く其弊に堪へずして國民將に迷霧を開かんとしつゝあり近來は英國の工業は獨逸の爲めに其販路を蠶食せられつゝあるに加へて米國工業の著るしき發達の爲めに英國の工業は漸く劣敗の位地に退歩せんとしつゝあり自由放任の結果斯の如く保護奬勵の結果彼の如し殊に日本の如き工業幼稚の國にては國家の力に依て之れを奬勵保護せざれば到底外國の

製造品と競爭して充分に發達するの見込なし而して其保護の最も通常にして簡易なる方法は關税の作用に依て内地の工業を保護するに在り然るに方今所謂協定税率の存するありて締盟國の同意を得ざれば關税率を左右すること能はざるを以て此權能を行ふこと能はざるなり各國皆此權能を有して吾國獨り之れを行ふこと能はずとすれば縱令ひ日本の進歩が各國と同等の地位に在るも尚ほ劣敗者たることを免るゝこと能はず況して吾工業の進歩は彼等と比較すること能はざる程の低度に在れば是非共此權能を回復せざれば啻に國の體面に關するのみならず事實に於て貧困に陷るの原因たり一日も猶豫すべからずと雖も條約年限中は如何ともす可らずといふ然り如何ともす可らざるが如しと雖も國民の決心と外交の手腕とに依り或る利益を

外人に與へて此權能を回復せんとせば年限中と雖も或は回復し得ざるにも限らざる可し若し之れを回復し輸入品の關税率を高くして内地の工業を保護するときは啻に邦人の工業が爲めに大に發達するのみならず外國人が或は資本を齎らし或は技藝を齎らし來て内地工業を助くることになるべし然れども此れ皆此權能を回復し得たる後の事にして其れまでは不止得他の方法に依て吾工業を保護せざるを得ず

他の方法とはあらゆる直接間接の方法を包含す曾て井上伯爵が唱道せられたる會計法を改正し官府に於て購入する物件にて内地の製造に係るものは競爭入札の法に依らず隨意契約の法を用ひ可成内國製品を用ひて外國品を用ひざる様に爲す亦今日の場合に於ては最も適當なる方法なるを以て當局者に向て速に之れを實行せんことを望む

又場合に依り物に依ては直接保護を行ふを妨けさるなり又消極的に行ふへき保護あり工業に對する營業税の如きは速に之れを廢止す可し其他現行の法律規則中工業發達を妨害す可きものあり是れ等は他の事に對し多少不便ありとも速に之れを改正し力めて工業の發達を圖るへし其他政府の行政に於ても地方の行政に於ても力めて工業の發達を圖ることに注意せしむ可く教育の方針に至ても亦勉めて工業獎勵の方針を執る可し然るに工業の保護に付ては其保護せらるゝもの之れを喜ふと同時に其保護を受けさる者は之れを妬み之れを嫉み爲めに其實行を妨害せらるゝことあらん此れ甚た謂れなき事なり元來獎勵保護は其保護せらるゝ人の爲めに之れを保護するに非らすし

て國家の進運の爲めに其事業を發達することを必要とし而して其事業は或る事情の爲めに多少之れを保護せされは充分なる發達を遂けさるものと認めたる場合に於て困難なる事業を興こし且之れを成就せんと勉むる勇者を奬勵する爲めに行ふ處分なれは其趣旨目的は國家の利益の爲めなり毫も嫉妬偏執の念を生す可き理由なし國民の心偏狹にして大局に通せす常に小故に由て大事を遺こし感情の爲めに國家の利害を忘れるは國家の發達進運を妨ぐるの大なるものなり但し工業の奬勵保護に付き其保護す可き事物の撰擇と其方法とは最も愼重な考慮を要すへきなり

之れを要するに眞誠なる國家の發達を遂けんとせは其根本を培養して其果實を收むへし徒らに代價を拂ふて外國の事物を移植して外面を裝飾し以て文明開化を誇るとも根株なきの果實は永久に繁榮せさるなり之れを先進各國の歷史に徵し之れを現時世界の大勢に鑑み又吾日本國の位地風土人情歷史進步の程度を觀察して深思熟考するに專ら工業を以て國を富ますの外此國を泰山の安きに置くの道はなし詳に之れを言へは擧國一致工業立國の主義に依り先つ國民需用の輸入品と同一なる工業品を內地に於て製造し國民需用の工業品は可成內國產を以て之れに充つることを勉め且外國に輸出すへき工業品を可成廉價に可成饒多に製造して之れを海外に輸出することを圖る可し之れより以外に富國の策なきを信するなり

國の財政を整理すること亦目下の急務にて先つ財政を整理せされは國家經濟の秩序を回復することを能はす隨て工業及商業の發達を圖る

に妨害あり故に先つ財政を整理することを急要とす伊藤總理は既に財政整理を斷行せんことを誓言せられたる由なれは余今之れに就て多く言ふを欲せざれとも唯一言冀望し置くことは財政整理は兌換制度の基礎を鞏固にするを主眼とし縱令ひ一時世の反對非難を受くるとも決して姑息彌縫の策に出てさることを請ふ殊に前述の如く鐵道其他の政府事業にして工業又は工業奬勵の方法其他直接に金錢上の利益を生せさるものは可成丈之れを中止することも亦財政を整理するに於て最も必要なり然らされは縱令ひ財政整理を行ふも決して其効なきことを斷言す

又政府事業の內にても製鐵所の如きは可成急速に之れを擴張して少くとも內國需用の鋼鐵類は悉く內國にて製造し得るまでの程度に達することを力む可しと雖も元來政府が自ら工業に從事するは民間能く其業を興すものなきか又は民間の力未た能く之を發達するに足らさる場合に於て假りに之れを行ふものなれは時機を待て之れを民業に移し而して適當の方法に依て之れを保護するを可とす製絨所の如きは最早之れを民業に移すの時機に達したるものにはあらざるか當局者の一考を煩はす切に望む民間の事業として發達す可らさるものは政府自ら之れを行ふ可しと雖も之れと同時に亦民業の發達を阻碍することなからんことを

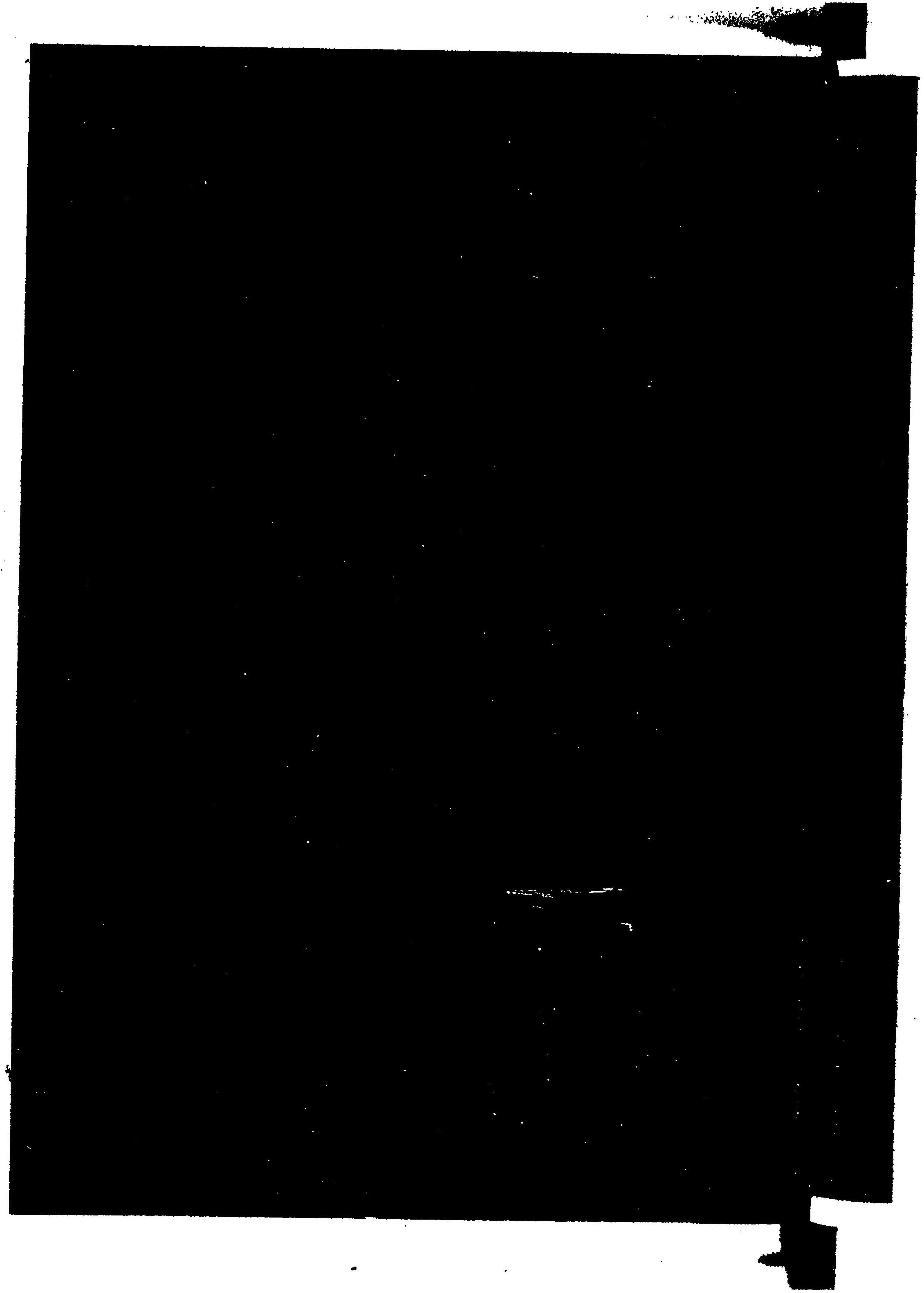
D-42

明治卅四年三月十二日印刷
明治卅四年三月十六日發行

非賣品

大阪市西區江戸堀北通壹丁目
二十九番屋敷
著作兼發行人　森作太郎

大阪市西區江戸堀下通四丁目
三十六番屋敷
印刷者　岡田谷五郎



7

8

富國論
森作太郎
国立国会図書館

040400-000-2
特47-858

富国論

森 作太郎／著

M34．3
BDD-0528